



エコ・ファーストの約束

暮らし、まいにち、エコ。

～ 環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

令和元年 6月28日

環境大臣

原田 義昭 殿

ライオン株式会社
代表取締役 社長執行役員

掬川 正純

ライオングループは消費財メーカーとして、いつも人のそばにいて、めぐり来るすべての一日の、人の清潔、人の健康、人の快適、そして人の環境を守り続けることを使命と考えます。

「人と地球の健やかな未来」に向けた以下の取り組みを進めてまいります。

I 脱炭素社会の実現による地球温暖化防止に向けた取り組みを積極的に推進します

1. 事業活動からの温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいきます

- パリ協定を受けた温室効果ガス削減目標として、温室効果ガス削減のための利用可能な最先端技術・製品・サービスの最大限の活用などにより、2030年までに事業活動（製造部門、事務営業部門、研究部門）に伴う温室効果ガス排出量を絶対量で、2017年比30%削減を、2050年までに排出ゼロを目指します。

2. 原材料調達から製造、輸送、使用、廃棄にいたる製品ライフサイクルで排出される温室効果ガス量の削減にも積極的に取り組んでいきます

- 洗剤などの内容物の原料を、トータル環境負荷の低減や持続可能な調達に配慮しつつカーボンニュートラルな植物起源の原料へと転換を進めます。節水などによる商品使用時の環境負荷低減や、容器包装の機能性等の確保と3Rの推進の両立を図るため、消費者とのコミュニケーションを通じて、エコの習慣化を促します。
- 製品ライフサイクルでの温室効果ガス量を絶対量で2030年までに、2017年比30%削減、2050年までに50%削減を目指します。

II 循環型社会の実現に向けた取り組みを積極的に推進します

- 容器包装の機能性等を確保しつつ、容器包装の軽量・コンパクト化やつめかえ・つけかえ用商品の拡充および再生材料を積極的に活用し、プラスチック、紙、ガラスなど容器包装材料の3R（Reduce：使用量削減、Reuse：再利用、Recycle：再資源化）を推進します。
- また、Renewable（持続可能な資源の活用）も積極的に検討していきます。容器包装において2030年までに、再生プラスチック及びバイオマスプラスチックの使用量の2017年比倍増を目指します。
- 事業活動全般での廃棄物の削減・リサイクルに組み込み、リサイクル率99%以上を全事業所で継続します。
- 生物が生きることに欠かせない最も重要な資源であり、ライオングループの多くの商品の使用に関わっている水資源の保全のために、製品ライフサイクルにおける水使用量を2030年までに原単位（売上高）で、2017年比30%の削減を目指します。

III 自然との共生の実現に向けた取り組みを積極的に推進します

- 生物多様性に配慮した事業活動と並行して、希少生物の保護活動など生物多様性保全を目的とした活動に長期的な視点で取り組み、全事業所で展開するとともに、環境教育へ活用することを目指します。

ライオングループは、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果について環境省への報告ならびにサステナビリティレポートなどによる公表を行ってまいります。

今日を愛する。

LION